

令和元年 12 月 20 日

関係各位

公益財団法人原子力安全研究協会
国際研究部

原子力規制庁

平成 31 年度「放射線安全規制研究戦略的推進事業費
(放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークと
アンブレラ型統合プラットフォームの形成) 事業」
放射線防護に関する国際動向報告会
開催のご案内 (第 2 報)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当原子力安全研究協会の諸活動に関しましては、平素より種々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、原子力規制庁の「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成」の一環として、産学連携による放射線防護の課題解決に向けた議論を行い、異分野間での議論を可能にするアンブレラ型統合プラットフォーム (以下「アンブレラ」という。) を形成するため、標記報告会を実施いたします。

本報告会の主な目的は専門家を対象とした情報共有と意見交換ですが、一般の方の参加も受け付けることと致しましたので、改めてご案内申し上げます。

敬具

記

1. 主 催： 原子力規制委員会、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
2. 主な対象： アンブレラ関係者
3. 募集人員： 100 名程度
4. 日 時： 令和元年 12 月 24 日 (火) 10:00～16:00
5. 場 所： グランパークカンファレンス 401 ホール
(東京都港区芝浦 3-4-1 田町グランパーク プラザ棟 3 階・4 階)
6. 参 加 料： 無料

7. プログラム：

テーマ「実効線量と実用量—改定の概要となお残る課題—」

10:00	開会 原子力規制庁 大熊一寛課長
10:05	講演「ICRP 主委員会における最近の検討状況」 講師：甲斐 倫明（大分県立看護科学大学）
10:25	講演「ICRP 第1専門委員会における最近の検討状況」 講師：酒井 一夫（東京医療保健大学）
10:45	講演「ICRP 第4専門委員会における最近の検討状況」 講師：伴 信彦（原子力規制委員会）
11:05	休憩（10分）
11:15	講演「ICRP 第2専門委員会における最近の検討状況」 （キーノートとして、新しい線量概念の概要を含む） 講師：佐藤 達彦（日本原子力研究開発機構）
11:55	休憩（70分）
13:00	パネルディスカッション 「実効線量と実用量—改定の概要となお残る課題—」 ファシリテーター：[ICRP/MC]甲斐 倫明（大分県立看護科学大学） パネリスト： [IAEA/RASSC] 川口 勇生（量子科学技術研究開発機構） [ICRU] 黒澤 忠弘（産業技術総合研究所） [UNSCEAR] 古渡 意彦（日本原子力研究開発機構） [ICRP/C1] 酒井 一夫（東京医療保健大学） [ICRP/C2] 佐藤 達彦（日本原子力研究開発機構） [ICRP/C4] 伴 信彦（原子力規制委員会） [ICRP/C4] 本間 俊充（原子力規制庁）
16:00	閉会 高橋 知之 プログラムオフィサー（京都大学）

※ プログラムは現時点のものであり、変更が生じる可能性があります

8. お申込み方法：

別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、本情報提供会事務局（公益財団法人原子力安全研究協会 国際研究部）へ、FAX もしくは email にてお申し込みください。

参加お申込み締切 令和元年 12 月 23 日（月）

なお満席になり次第、締め切りとさせていただきます。

9. 注意事項：

- ・ ホール内での飲食は可能ですが、ホワイエ等の共用部分でのご飲食は禁止されています。
- ・ 当該施設は禁煙です。指定の喫煙所以外での喫煙はできません。
- ・ 当日は公共交通機関をご利用の上お越しく下さい。
- ・ 国際的機関において現在議論中の内容も検討対象と致しますので、写真撮影、録音、動画配信等は、禁止とさせていただきます。

以 上

【お問合せ先（事務局）】

公益財団法人原子力安全研究協会 国際研究部
住所：105-0004 東京都港区新橋5丁目18番7号
TEL：03-5470-1983 FAX：03-5470-1991
otsu@nsra.or.jp（大津）